

りいぶる



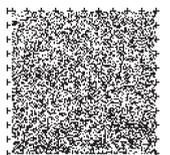
表紙デザイン作者：ひろのみずえさん（イラストレーター、和歌山県在住）



りいぶる★アイ 特集 変わる？わたしたちの“働き方”

～女性活躍推進法から考える～

- ・魅力ある女性リーダーをめざして「女性リーダー養成講座」
- ・女性が輝く企業
- ・ワタシを楽しむ生き方





特集 変わる？わたしたちの“働き方”～女性活躍推進法から考える～

女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）とは？

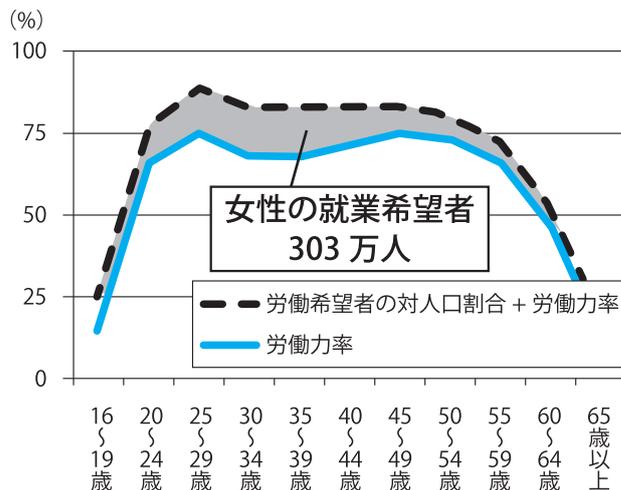
働くことを希望する女性が能力と個性を十分に発揮できるよう、国や地方公共団体（都道府県・市町村）と民間企業それぞれが、女性活躍推進に向けて果たすべき責務について定めた法律です。2015年8月に制定され、今年4月1日に全面施行されました。

● 女性の働く現状と課題からみえること ●

平成26年総務省「労働力調査」（右図参照）によると、就業希望の女性は約303万人。第4次男女共同参画基本計画では、2020年までに25～44歳の女性の就業率を70.8%から77%に上げる数値目標を設定しています。女性の約6割は第一子出産を機に離職しており、出産・育児後に再就職した場合、パート等になる場合が多く、女性雇用者における非正規雇用者の割合は6割近くになります。

こうした現状から、正規雇用を増やし、仕事と育児、介護の両立支援や保育支援の充実を図るとともに、男性が家事育児、介護を積極的に担えるように男性中心の働き方を変える必要があります。女性活躍推進法は、これまで各事業者の自主性にゆだねられていたこれらの取組を推進すべく、課題の分析や行動計画の策定、関連情報の公表を義務化して、女性が活躍するために必要な社会の環境を整備していこうとする法律です。

女性の年齢別労働力率と就業希望者の割合



(出典：平成26年総務省「労働力調査」)

● 法律の全面施行によってどんなことが決まったの？ ●

【企業が行うこと】従業員が301人以上の企業に次のことが義務づけられました

※300人以下の企業にも努力義務があります。

① 自社の現状と課題をチェック！

これは必ずチェック⇒女性採用比率・勤務年数男女差・労働時間の状況・女性管理職比率

② 課題解決のための行動計画をつくり、社員に周知、外部へ公表

※取組の具体例：女性職員を対象として管理職育成を目的としたキャリア研修を実施
これまで女性社員が少なかった部署等に女性を積極的に配置 など

③ 実践した情報をどんどん社会に公開する！



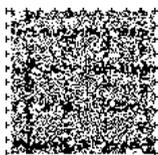
つまりは…

社会全体で女性が働きやすい環境に変えていこうとする法律なのです！

これは、10年間の時限法（10年経つと効力を失う）です。
その間に変えなきゃいけないことはたくさん。
私たち女性がしっかり見届けて、発言していくことも大切！



女性の活躍が進めば、企業が変わる。企業が変われば働き方も変わる。
それらが変われば暮らしやすい社会が変わる！



魅力ある女性リーダーをめざして

“りいぶる”ではリーダーをめざしている女性を対象に、平成27年11月18日(水)・12月3日(木)に「魅力ある『女性リーダー』養成講座」を開催しました。



ロールプレイングを实践

★1日目 コーチング研修

「リーダーとして求められるコーチングについて学ぼう」

講師：星野 恵子さん（株式会社マンズ・リソース代表取締役）

リーダーとして新人や後輩に指導するためのノウハウのひとつとして、コーチングについて学びました。

コーチングとは、自分の力で考え行動できるようにアドバイスすること。

まずはきちんとティーチング（指導）したうえでコーチングの手法、リーダーシップをとるために必要な教育の5つの要素を学びました。また、実際に「聴く」トレーニングや、具体的な事例を想定してのロールプレイングを行いました。

★2日目 ロールモデルによるパネルディスカッションと交流会

「女性たちのストーリー ～悩みを共有しよう!～」

コーディネーター：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部助教・キャリアカウンセラー）

パネリスト：東 由美さん（きのくに信用金庫 黒江駅前支店 支店長）

：堀口由記江さん（株式会社松源 内原店 店長）

：向 美佳さん（紀陽情報システム株式会社
第二金融システム事業部金融システム1部 部長代理）

仕事を継続しスキルと経験を積んできた、子育てのため一時は仕事を辞めたが子どもが大きくなり再就職し現在に至るなど、三人のパネリストが管理職に就くまでの経緯、仕事に対する姿勢などを話されたのち、本庄さんのコーディネートのもと、パネリストと参加者のQ&Aの時間をもちました。「仕事が好きで全力投球してきた」「家事・育児に協力的な家族がいる」「思いがけなく管理職としての機会を与えられた」など具体的なお話を聞くことができました。後半はグループで、理想とするリーダー像について、自分がそうなるために意識すること、今日からできそうなことを出し合い、全体で共有しました。

最後に、パネリストから先輩として「管理職のポストに就くことを嫌がる女性もいますが、管理職はチームのまとめ役、頑張りすぎずポジティブに明るい気持ちで取り組めばみんなが支えてくれる」、「『役割が人を育てる』、管理職になれば管理職らしくなっていきます。機会を与えられたら臆することなくポストに就いてもらいたい」とリーダーをめざす女性たちにエールが送られました。



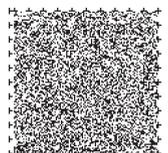
左から
東さん、堀口さん、向さん



グループワークの様子

女性が働き続けるためには、まだまだ家事・育児への協力者が不可欠であることや、結婚をすれば家事の、子どもができれば子育ての負担が増えるため、仕事と家庭のバランスをとりつつポストを掴み取った軌跡がうかがえました。男性は結婚や育児で仕事を辞めたり、続けるうえで支障になったりすることはほとんど見られませんが、女性はそこで足踏みをしてしまう現実があります。何かを犠牲にしなくても働き続け、ポストに就けるような社会資源や、家事・育児は女性がするものといった性別役割分業意識をなくしていくことが今後より必要であると言えます。

また働きたくても家庭の事情が許さず働けない女性、働かないことを選んだ女性など様々な生き方があります。多様な生き方を選択した女性たちが社会の様々な場面で活躍できる社会、これこそが今求められているのではないのでしょうか。





女性が輝く企業ってどんなところ？
どんな風に働いているの？

女性の能力や個性を最大限に生かした職場づくりに取り組まれている中野 BC 株式会社。男女がともに生き生きと働く職場環境づくりに取り組む「和歌山県男女共同参画推進事業者」※にも登録されています。

女性社員による「なでしこチーム」をつくり、女性の感性を生かして多くのヒット商品を生み出しています。これまでの女性活躍に至る経緯や取組についてお話をうかがいました。

※登録制度については6ページ参照

中野 BC 株式会社 (海南市)

お話をうかがった方

津井 雅也さん (品質保証部 部長)

山中真梨奈さん (「なでしこチーム」リーダー、セールス & マーケティング部)

橋本なつみさん (セールス & マーケティング部)

大西 紗与さん (リサーチセンター食品科学研究所)



左から 大西さん、橋本さん、山中さん

長年、男性社員が中心の職場でしたが、代表取締役社長である中野幸治氏が「商品を実際に買うのは女性。これからは女性目線の開発が必要」と2006年に女性社員を含むセールス & マーケティング部を立ち上げました。以後、毎年女性社員を採用、新しい発想を生かそうと女性が好む梅酒に着目し、様々な新商品を開発した結果、売り上げが増加しました。2014年5月からは、研究開発から製造、販売までを一貫して担うプロジェクトチームを女性8人で結成し「なでしこチーム」と命名、2015年10月には発表した梅酒が全国梅酒まつりで入賞するなど成果を上げています。津井さんは「女性同士は対等に意見交換できる良さがあります。部署横断的なチーム編成のため今まで社内で埋もれがちだった女性の意見や感性を汲みあげやすくなり、また一貫して携わることで開発から商品化までが格段に速

くなりました。社内には男性チーム『SAKEメン』もあり、互いに切磋琢磨し性別にこだわらず能力を発揮できる会社をめざしています」と話されました。

山中さんは「女性だけの和気あいあいとした雰囲気から様々なアイデアが生まれます。普段の生活で感じたことでも新しい発想に結びつき、自分たちの感覚から生まれた商品がヒットするとやりがいを感じます」と言います。大西さんは「学生時代から理系の女性が就職するのは厳しいと言われていたので、研究職で入社でき嬉しかったです。女性が少ない分野だからこそ自分の感性を強みに変えていきたい」と述べられました。橋本さんは研究職でしたが、出産を機に育児休暇を経てセールス & マーケティング部に異動、時短勤務で働いています。「新しい部署での仕事に慣れるまで時間はかかりましたが、それまでの経験が生かせるのが強みです。仕事と育児のバランスのとり方を先輩の女性社員に相談しながら両立をはかっています」と話されました。

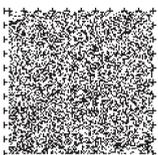
津井さんは「子どもが3歳までは時短勤務、小学校に上がるまでは時差出勤制も利用できます。また子どもをもつ社員に育児支援金を支給する制度もあります。良い人材に長く働いてもらえるよう、今後もニーズに応じて柔軟に対応していきたい。また、企業全体の状況を把握し多角的な視点をもった女性管理職も育成したいと考えています」と述べられました。

こうした社員の能力やニーズに沿った取組が働き続けたいという意欲を引き出し、また地元の企業の取組が雇用の安定や地域の活性化にもつながります。「なでしこチーム」たちの笑顔に、確かな女性活躍の“風”を感じました。



なでしこチームが開発した梅酒「てまり」

※中野 BC 株式会社：海南市藤白 758-45
TEL：073-482-1234 (代)
詳しくは、ホームページ・フェイスブック
ともに「中野 BC 株式会社」で検索してください。





でも、仕事の他にもいろんな輝き方があるよね？
輝き方のヒント、聞いてみたいな。

仕事、家庭以外で自分らしく居られる場所が和歌山にあります。
女性たちが自分の好きなこと、得意なことを持ち寄り、「まちを楽しむ」ことを仕掛けている
サークル「和歌山のまち女子 waccalla (ワッカラ)」。
30代を中心に集まった女性たちが、どんな思いで活動されているのかお話をうかがいました。

**和歌山の
ワッカラ
まち女子 waccalla
(和歌山市)**

お話をうかがった方

- 後藤 千晴さん (waccalla 世話人、和歌山大学地域連携コーディネーター)
- 万谷 絵美さん (waccalla ウェブ担当、ライター)
- 宮田 尚美さん (デザイナー)
- 山東 由記さん (造園業自営)
- 越部 早絵さん (不動産会社勤務)
- 三木早也佳さん (工務店勤務)



左から 宮田さん、山東さん、三木さん、
後藤さん、越部さん、万谷さん

waccalla は、“りいぶる” 地域連携事業に採択され
2014年1月に行ったまちづくり講座で、後藤さんが
スピーカーとして話し、その参加者と集まったのが始
まりです。ルールは決めず各自がやりたいことを SNS
で告知し、共感した仲間がその都度集まるというスタ
イルで、これまでまちの飲食店紹介や、オリジナルレ
シピのジンジャーユースを地元のイベントで販売す
る、いちご狩りへ行くなどの様々な活動をしてしま
した。参加者の一人、万谷さんは「参加者の性別や年
齢にはこだわりません。いろんな人が集まれば、アイ
デアやネットワークが広がり良い形になります。和歌
山のまちを紹介する自主制作冊子『waccalla』もそこ
から生まれ、全国の小冊子を集め展示するイベントに
まで発展しました」と紹介されました。

宮田さんは「気づけば waccalla は私の生活の『ス
パイス』として存在しています。ここには気張らずに
それぞれの良いところを出し合える仲間がいます」と
言い、山東さんは「SNS で誰が発信しているか分か
ります。親しい仲間がいると分かれば活動に参加し
やすく、家族も応援してくれています」と話されま
した。

仕事以外の活動を続ける理由として、後藤さんは
「色々な状況のなかで決まった活動を長続きさせる
のは難しい。使命感というより『楽しむ』気持ち
を大切にしています。男性は社会のなかで優劣を
つけられ生きてきた影響なのか順位にこだわる傾
向がありますが、女性は横のつながりをつくるこ
とが上手です。私たち

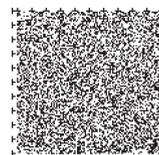
の活動が女性の新しいつながりの一助になれば嬉
しいです」と話されました。また越部さんは「女
性は控えめが良しとされ自分のことを伝える機
会が少ないかも。でも誰もがふとしたことで主
役になれるチャンスがあります。それは女性にと
って自信につながります」とも言います。

仕事や家庭、プライベートのバランスに迷う女
性に向けて、三木さんから「20～30代の女性
は結婚や出産などで環境が変化しやすい時期。
でも周りとは比べなくてもいいし、キャリアア
ップしなければと焦らなくても大丈夫。女性
の生き方はひとつではない。自分を肯定して
くれる仲間が必要」とメッセージをいただき
ました。

彼女たちの生き方のベースにあるのは「楽しい
かそうでないか」。それは漠然としているがと
ても大切なこと。こうした自然体での活動が
、次世代の女性たちの希望となり、軽やかに
人生を選べる社会につながるのではないでしょ
うか。

※活動については、ホームページ・フェイスブックともに「和歌山のまち女子 waccalla」で検索してください。
冊子「waccalla」のホームページ「万町 ZINE」もあります。

女性の活躍の場は職場以外にも家庭やサークル、地域の活動など様々にあります。女性の活躍推進とは単に「女性の労働力」を増やすことではありません。女性の活躍とは、女性の生き方の選択肢が今より豊かになっていくことに他なりません。女性の活躍しやすい社会では、男性など他のすべての人にとっても生きやすい社会になるはずです。



講座レポート

はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座 実践編 「私が変わる！ ～ 一步を踏み出すために ～」



和歌山：平成27年7月4日・8月1日・22日（土）

田 辺：平成27年7月19日・8月9日・30日（日）

講師：鳥淵 朋子さん（アクト研究室代表）

男女共同参画推進の担い手として、様々な分野でのリーダーとなる人材（エキスパンダー※）を養成するため、平成26年度に開催した基礎編に引き続き実践編を開催しました。

「スキルを身につけネットワークをつくり実践する」をテーマに、情報リテラシー、協議のためのファシリテーション、プランニングのノウハウ等を学び、グループで講座の企画立案を行いました。

1日目は、基礎編で学んだ男女共同参画について振り返りながら、誰もが生きやすい社会とは何かを考えグループでまとめ、最終日の企画立案のたたき台へつながらる時間を持ちました。



※ expand（エキスパンド）は「拡大する、展開する、発展させる」の意味
expander（エキスパンダー）は expand する人（物）

2日目は、ファシリテーションの技法やアイデアをプランに変えるテクニックについて、ワークをまじえて体得しました。



最終日には、「りいぶる」の「みんなに男女共同参画」提案事業の実施要項をもとに講座を企画し、グループで発表しました。実際に応募した中から和歌山・田辺会場それぞれ1グループずつ企画が採択され講座を開催し実践までつなげることができました。

受講生は、連続講座で得た知識やスキルを生かして、それぞれの地域で男女共同参画の担い手として活動を展開しています。こうした担い手が増え、和歌山の男女共同参画がさらに進展していくよう、「りいぶる」も期待しています。

次はあなたもエキスパンダー！ 今年度は、御坊市と新宮市で行います。乞うご期待！



男女共同参画公開セミナー in 御坊市

「アウトドアの知恵を防災に活かそう！ 知って得する防災講座」

防災にもっと女性や子どもの視点を！

平成28年2月7日（日）

講師：あんどうりすさん（アウトドア流防災ガイド）

実際の避難所のイメージを体感すべく赤ちゃんからお年寄りまでが参加。講師自らの被災体験や各地で起こった災害について話され、日頃から取り入れられる防災知識を紹介されました。例えば、豪雨時に長靴は水が入り込み歩けず危険、特に子どもの長靴は大人と比べ短いので要注意、穴のあいていないヘルメットは津波で着水したときに首が絞まる、火事は火よりも煙から逃げる工夫をなど、多岐にわたって具体的に説明されました。

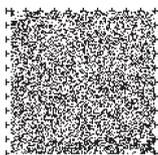
また幼児を連れて逃げる場合、大きめのスカーフを抱っこ紐代わりにする、さらしは10mあれば、おんぶ紐や下着の当て布、包帯など様々な活用できると実演しながら紹介され、その驚くほどのアイデアと応用力に参加者は熱心に見入っていました。

さらに、地震や落雷のときに子どもでもできる身の守り方や、倒れた人を小さい力で起こせる古武術の方法を参加者に実際に行ってもらいました。講師は、「被災時は手近にあるどんな物も活用できます。原理や仕組みを知ることが大切。また普段から防災グッズをカバンに入れておけば、いざというとき役立ちます」と話され、「この内容を身近な人に伝えてください。普段から地域で防災知識を共有し、話し合いができる関係をつくっておくことが大切。地域の安全を自分たちで考えていきましょう」と結ばれました。
※その他情報は「あんどうりすの防災・減災りす便り」を検索



保存版！りすさんオススメ防災豆知識♪

- 水遊びでもライフジャケットは必ず着用。
- 非常時は血液型よりアレルギー情報が役立つ。
- 停電時にヘッドランプなら両手が使える。
- スマホを活用しよう（天気、風向き、防災アプリ）。
- 懐中電灯ではなくLEDライトを。
- ツイッターで救助要請できる（できる人に頼もう）。
- 軽い息でも吹けるホイッスルを常にもっておく。
- アウトドアの防水バッグは給水ボトル代わりに。
- グットテープ（防水性が高く用途を選ばない）を常備。ぜひ取り入れてくださいね！



青少年・男女共同参画課インフォメーション

◆男女共同参画推進事業者を登録しました
(平成 28 年 2 月 1 日現在登録数：85 事業者)

県では、男女がともに安心して生き生きと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいる事業者の皆さんを登録し、その活動を応援するため、ホームページなどで広くその取組を紹介します。

登録申請は随時受け付けています！！ 事業者の皆さんからの応募をお待ちしています。

和歌山県 男女共同参画推進事業者

検索

事業者名 (登録番号)	業種 (所在地)	取組内容
益田工業有限会社 (男女第 86 号)	建設業 (和歌山市)	・工事現場において仮設トイレを女性用、男性用に分けて設置 ・ネットを活用した工事現場の雇用管理により、柔軟な働き方を推進 ・積極的に女性を採用し、女性現場監督を育成 等
株式会社 たまゆらの里 (男女第 87 号)	宿泊業 (紀美野町)	・資格取得のための講習費用や受験料を会社負担し、スキルアップ支援 ・人的ネットワークの構築や管理職としての能力向上を図るため、女性管理職を他社との勉強会に定期的に派遣 ・個人毎にノー残業デーを設定し残業を削減 等
近畿電設工業 株式会社 (男女第 88 号)	建設業 (和歌山市)	・資格手当を明確に規定し、資格取得のための講習費用や受験料を会社負担し、スキルアップ支援 ・男女の区別のない人事考課基準、給与体系を構築 等
かどや 角谷産業株式会社 (男女第 89 号)	建設業 (和歌山市)	・現職務のレベルアップのため、資格取得の費用を支援するとともに、資格取得時にお祝い金を支給 ・職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止に関する方針を定め、社員に周知 等
有限会社 中川工作所 (男女第 90 号)	建築・不動産業 (紀の川市)	・資格取得のための講習費用や受験料を会社負担し、スキルアップ支援 ・ノー残業デーを個々に設定し、残業時間を削減 ・〈職場のハラスメントに対する基本方針〉を定め、従業員に周知 等
有限会社 えいこう 永晃建設工業 (男女第 91 号)	建設業 (和歌山市)	・資格取得のための講習費用や受験料を会社負担し、スキルアップ支援 ・残業削減のため、ノー残業デーを設定 ・職場におけるハラスメント防止のため、心理カウンセラーの資格を取得した女性による相談窓口を設置 等

“りいぶる” 図書室

☆スタッフおすすめ図書☆



町工場の娘

著者：諏訪貴子
出版社：日経 BP 社

急逝した父の後を継ぎ、32歳で主婦から町工場の社長に就任した著者の10年間の記録。男性中心の製造業で、持ち前の明るさと行動力で経営難から再建し、雑誌「日経WOMAN」が各界で活躍した働く女性に贈る「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2013」に選ばれるまでに。「女性ならではの視点、論点は社会に新しい風を吹かせる。小さな勇気と行動が人生を変える」と語る。どんな経験でも、人生にとって無駄なことはないと感じ、元気になる一冊。



男性漂流

男たちは何におびえているのか

著者：奥田祥子
出版社：講談社

ジャーナリストである著者が10年にわたり結婚、子育て、介護、老い、仕事に息詰まった男たちに取材したルポルタージュ。

「イクメン」ブームに押され、子どもにどんな父親の姿を見せるべきか戸惑う者。親の介護で婚活どころではない者。競争社会に生き残れずキャリアを手放す者。

男性はこうあるべきだという思い込みゆえに、弱音を吐けず周りに頼ることができない男たちの叫びを垣間見ることができる。

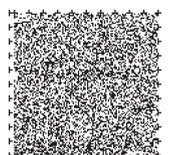


ことりをすきになった山

作：アリス・マクレラ
絵：エリック・カール
訳：ゆあさふみえ
出版社：偕成社

雨や雪の冷たさしか知らない岩だらけの山に、ある日渡り鳥がとまった。その小鳥のぬくもりを感じた山は「ここにいてもらえないかね？」と頼むが、草木や水のない山では暮らせないと小鳥は言う。

永遠に生きる山と短い命をつむぐ小鳥との物語。願い叶わぬ山が苦しみを爆発させたあとに起こる奇跡とは…。



自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室
相談受付専用ダイヤル 073(435)5246

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。
 秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

- ☎(水)木(金)土☎ 9:00～20:30 (受付は20:00まで)
- 〇〇〇〇〇〇日 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

- ☎(水)木(金)土☎ 9:00～17:30 (受付は16:30まで)
- 〇〇〇〇〇〇日 9:00～16:00 (受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

- 〇〇〇〇(金)〇〇 13:00～15:40 ※第1～第3金曜日
- 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

- 月4回 13:00～14:50
- ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
- 予約制、各日3人まで。相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

- ☎(水)〇〇〇〇〇 16:00～20:00 (受付は19:30まで)
- ※毎月第2水曜日 予約優先(匿名可) 相談時間は1人40分程度

☆表紙デザインについて☆

作者のひろのみずえさんは、様々なテーマの本の挿し絵や冊子、パンフレットなどのイラストを描かれています。センターの愛称“りいぶる”はフランス語で「自由な(libre)」の意味。子どもたちが自由な未来に思いをはせる様子を表現されました。

◆発行 和歌山県男女共同参画センター



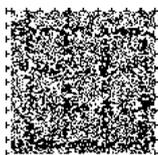
“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245
 F A X (073) 435-5247
 《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp
 開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時
 日曜：午前9時～午後5時30分
 休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)
 年末年始(12月29日～1月3日)

りいぶる 検索

フェイスブックも更新中♪



—企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんばにい—

性暴力について
 相談したい…

性暴力救援センター和歌山
 マイン
わかやま mine
 (和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー
073-444-0099

- 相談・医療 毎日/9:00～21:30
- 緊急医療 毎日/9:00～22:00

こころとからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。ひとりで悩まずに相談してください。

お知らせ♪



**男女共同参画
 特別公開セミナー開催**

村木厚子さんをお迎えし、女性の活躍をテーマに講演していただけます。私たちの社会の課題解決に向けてともに考えませんか。



日時：6月15日(水)
 19:00～20:30
 会場：和歌山ビッグ愛大ホール
 講師：村木厚子さん
 (前厚生労働事務次官)

詳細が決まり次第、県民の友、“りいぶる”ホームページ・フェイスブック等でお知らせします。
 お楽しみに！